

大阪府済生会茨木病院で行っている下記の人を対象とする医学系研究について、情報公開しています。これらの研究の利用目的や方法等についてお知りになりたい場合、これらの研究への試料・情報利用についてご了承できない場合等、お問い合わせがありましたら研究責任者または担当者にご連絡ください。ただし、他の方の個人情報や研究の知的財産に関わること等は、お答えできないこともありますのでご了承ください。

研究課題名	ブロムイオン(Br-)などハロゲンイオン存在下での臨床検査クロール(Cl)値の解釈
当院の診療科・研究責任者	研究責任者：検査科 谷口圭子
他の研究機関	なし
本研究の目的・利用方法	ブロムイオン(Br-)などハロゲンイオンが血液に存在すると臨床検査クロール(Cl)値は見かけ上高くなり、偽性高クロール血症となります。診断・治療には本当のCl値を知る必要がありますが、今まで臨床的に有用な方法の報告はありません。偽性高クロール血症の本当のCl値を類推する簡便な方法を考えました。
研究期間	2023年5月～2028年4月
研究の方法（対象となる方）	偽性高クロール血症が疑われる方
研究の方法（利用する情報）	Br-などのハロゲンが存在する血清をClを含む溶液で希釈すると希釈後の血清Cl値は予想値よりも高くなります。希釈後血清をさらに希釈すると希釈後の血清Cl値は予想値よりもさらに高くなります。この方法で元の血清に含まれるBr-などのハロゲンによるCl値を類推します。検査科で生化学自動分析装置(TBA C16000 (キャノンメディカルシステムズ))血清測定用 (Sモード) 及び尿測定用 (Uモード) を使用しNa、Clを測定します。
使用する試料・情報の他機関との授受	診断目的検査のために採取された血液検体の残りを使用します
お問い合わせ先	【電話】 072-622-8651 【担当者】 検査科 谷口圭子
備考	